

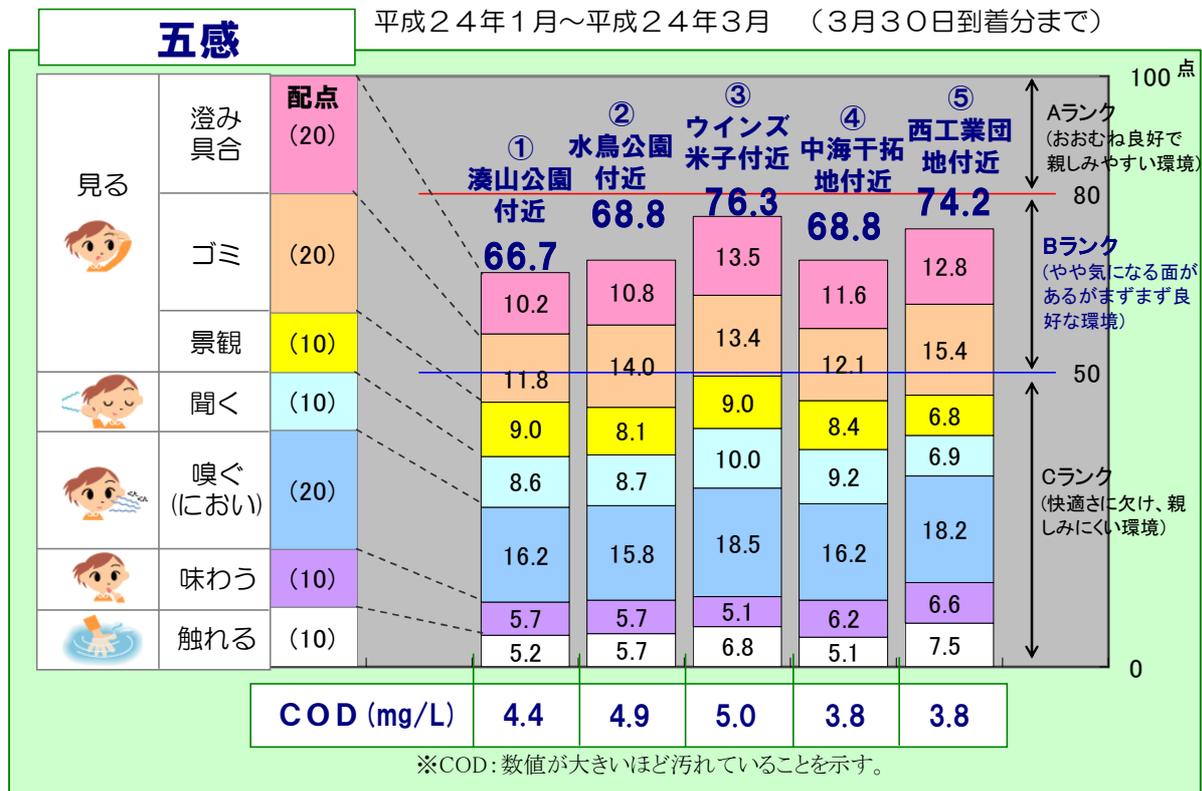
五感でチェック!

中海 湖沼環境モニター通信

平成24年3月

第5期モニター中間集計 (第2四半期:平成24年1月~3月)

第2四半期の結果を集計したのでお知らせします。3月も終わりになって、日に日に暖かくなってきました。冬の寒期中、調査にきていただきありがとうございました!

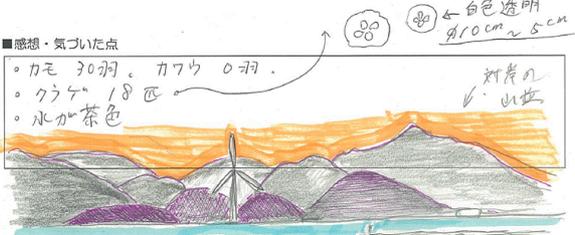


- 合計点は5地点ともBランク。これは第1四半期(10月~12月)と同じ。
- 「見る(景観)」「聞く」「嗅ぐ(におい)」の点数は比較的高かった。「味わう」「触れる」が低かった。
- 水質(COD)は、全体的に第1四半期(10月~12月)より良かった。

モニター感想・気づいたこと (ほんの一部です)

- ① 湊山公園付近
- 【1月】魚介類は、米子港のサヨリ、錦海団地のゴズなど釣って食べている。
 ・キンクロハジロやコブハクチョウ、カモメがいた。
 ・カモの大群がいた。今日の湖水はいつもより濁っていた。
 ・プラスチックのゴミや流木があった。夕日が水面に反射してきれいだった。
- 【2月】ボートの練習で20隻くらい出ていた。
 ・CODは久しぶりに4mg/Lと低く、先月に比べて水が澄んでいた。
- 【3月】城山から鳥のさえずりが聞こえ、うらかな日和だ。
 ・湖水が少し濁っていた。波は穏やかで景観はきれい。さざ波の音がなごやか。臭いはない。
 ・オオバン、キンクロハジロなど水鳥がたくさんいた。



<p>② 水鳥公園付近</p>	<p>[1月]・おだやかで静かな中、水鳥の元気な鳴き声がしていた。バックテストの後、水鳥たちが寄って来た。 ・水位が低かった。オジロワシがいた。</p> <p>[2月]・風があり、さざなみの音が強い。 ・キンクロハジロやオナガガモがいた。中海はいつもより澄んでいたのに、承水路の方は濁っていた。</p> <p>[3月]・風は冷たいが、日差しは暖かい。 ・コハクチョウがたくさん来ていた。エサを探すためにしきりに首を水中につっこんでいた。 ・カンムリカイツブリがいた。水はきれい。コブハクチョウが威嚇しながらやって来た。</p>  <p>コハクチョウがたくさんいた</p>
<p>③ ウインズ米子付近</p>	<p>[1月]・釣り人に尋ねたところ、臭気は感じないと言っていた。夕日に映えて対岸が美しい。 ・カモ 30羽、カワウ 0羽。クラゲ 18匹。水が茶色。</p> <p>[2月]・カモ 40羽。湖底の砂が茶色に汚れている。対岸の安来の山々が小雨で霞んで墨絵のように美しい。 ・風はなく穏やかな海面だったが、少し濁りがあった。遠景は霧で見えなかった。 ・晴れていて気持ちが良い。</p> <p>[3月]・太陽が照ると春の息吹が感じられ、水面に反射された光がまぶしい。 ・カモ類が 150羽ほどいた。湖底は 50m先まで見えたが湖底の砂は茶色に汚れていた。アシ・ヨシの漂着があるが、人工ごみは激減した。流木アートに良い流木があった。</p>  <p>感想・気づいた点 ・カモ 30羽、カワウ 0羽。 ・クラゲ 18匹 ・水が茶色 ○ 白色透明 φ10cm ~ 5cm ↓ 対岸の山並み</p>
<p>④ 中海干拓地付近</p>	<p>[1月]・先月より水鳥が多かった。打ち上げられたゴミが多くなっていった。 ・水位が非常に低く、夏より約 70cm 低い。しかし湖底までは見えなかった(透視度 90cm)。水温は昨年同時期より高く、秋に芽生えたオゴノリも 15cm 超に成長している(昨年は冷害で枯れ始めていた)。 ・雪景色と夕日がきれいだった。</p> <p>[2月]・昭和 30 年代前半の透明度の高い湖水を思わせるほどきれいな水だった。これまでの調査で初めて A ランクの点数になった。 ・少し雪が残っていて風情があった。ビニル系のゴミがあった。</p> <p>[3月]・静かな冬の海。水深の深い所は濁っていた。 ・彼岸なのにまだ寒い。水の流れがある。 ・連日の強い西風で大量のゴミが打ち上げられている。水位が低いこの時期は特にゴミがたまりやすい。</p> 
<p>⑤ 西工業団地付近</p>	<p>[1月]・大寒にしては無風で穏やか。釣り人がのんびり釣りをしていた。 ・中海全域で濁りが続いており湖底が見えず、アマモは確認できない。岸辺の岩に生えるウミトラノオは例年より成長が悪いのが気にかかる。 ・見た目は濁っていた。時化(しけ)で波が高く濁って見えたのだろうか。</p> <p>[2月]・北西の風が冷たく船だまりには人がいない。調査場所まで自転車で 30分、77才になった。 ・湖水の透明度はまれにみるほど良い。湖岸の海藻(ウミトラノオ)の生長がおかしく先月から全く伸びていない。 ・雪が降っていて寒かったが、水はきれいだった。</p> <p>[3月]・西風が吹いて海面は白波が立っているが、江島大橋がはっきりと見える。 ・岸辺のウミトラノオ(海藻)の生長が異常に悪く、最近 5 年間ではこれほどのことはなかった。 ・春です。気温も上昇。水鳥が浮いていたが、岸辺に魚がいるのだろうか？</p>  <p>ウミトラノオ(海藻)の生長が異常に悪い</p>
<p>(※) 提供いただいた写真は中海湖沼環境モニターのホームページに掲載しています。 http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=71255</p>	

「中海・宍道湖を学び、楽しもう！」

～さかなクンとともに～を開催しました

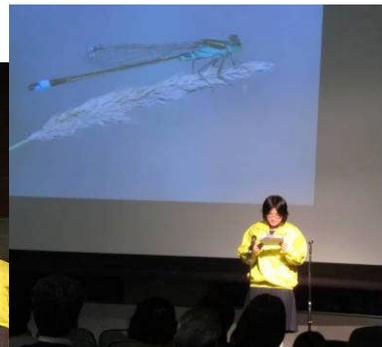
2月18日、くにびきメッセ（松江市）において、「さかなクン」をメイン講師に迎え、ラムサール条約湿地である中海・宍道湖の自然や生き物について学び、楽しむイベントを開催しました。あいにくの雪模様でしたが、約500人の方にご来場いただき、にぎやかなイベントとなりました。

中海・宍道湖をフィールドに活動する子どもたちの活動発表、宍道湖自然館ゴビウス・米子水鳥公園の専門職員による自然紹介、そして最後に、さかなクンによる中海・宍道湖の生きものナビと、メニュー満載でした！

子どもたちの活動発表では・・・

米子水鳥公園ジュニア・レンジャークラブからは、「公園内のメダカ池に栈橋を作って、来園者が観察しやすい環境整備をしている」などの活動報告がありました。

また、米子水鳥公園とゴビウスのラムサールクラブが参加した、他県のラムサール条約登録湿地の仲間との交流会の報告がありました。



米子水鳥公園からは「クイズ：水鳥公園にたくさんやってくる、コハクチョウの食べ物は何でしょう？」

①魚 ②お米 ③草

答えは・・・米子水鳥公園に行って調べてみましょう。



宍道湖自然館ゴビウスからは、宍道湖と中海にすんでいる生き物「湖の幸(さち)」について。シラウオの卵とじ、手長エビのエビせんべい、サツパ(ママカリ)のみりん干しはおいしいなどをお話しされました。

「宍道湖・中海はおいしい物もたくさんとれます。豊かな環境を守っていきましょう」としめくりました。



さかなクンは、中海・宍道湖にすむ魚のイラストをすらすらと書きながら、「これは何という魚でしょう？」とクイズを出題し、フナ、コイ、ナマズ、スズキなど、いろいろな魚の生態をギョギョッと解説しました。



2012年(平成24年)2月18日 くにびきメッセ(松江市)
「中海・宍道湖を学び、楽しもう! さかなクンとともに」

鳥取・島根両県では、

平成24年度も中海・宍道湖を楽しむイベントを開催する予定です。ご期待ください!

第5回 中海の未来をこどもと語る会

3月11日、米子水鳥公園において、「中海の未来をこどもと語る会—語ろう!!中海圏域の環境・未来のエネルギー」（主催：彦名地区環境をよくする会、財団法人中海水鳥国際交流基金財団、彦名地区チビッ子パトロール隊）が開かれました。

彦名地区環境をよくする会の向井会長は、生活排水対策の普及、チビッ子環境パトロール隊の指導など、地域の方々といっしょになって環境保全活動に長年取り組んでおられます。



米子水鳥公園こどもラムサークルクラブ、ジュニアレンジャーの活動発表



彦名地区チビッ子パトロール隊

平成2年から、町内の環境パトロールと中海の水質調査、親子の環境学習会、使用済みばしや天ぷら油の回収など資源リサイクルなどの活動を行っています。

こうした活動によって、町内の環境は少しずつ良くなっているとの報告がありました。「私たちが行動しなければ何も変わらない」と強調しました。



電気自動車(EV)の見学会もありました。

「痛車(いたしゃ)」と言って、車体にアニメやマンガのキャラクターを描いた車で、背景には米子水鳥公園や大山など地元の風景が描かれていて、とてもかわいかったです。

金木犀(きんもくせい)の会

エコ活動などをしながら親睦を深めている平均年齢70才の会で、始めて4年目になる加茂川と中海の水質検査の結果を発表されました。中海湖沼環境モニターにも参加していただいています。ありがとうございます。「継続は力なり」と活動を続けることの大切さを強調されました。



(担当) 鳥取県西部総合事務所 生活環境局 環境・循環推進課 環境衛生担当